

【様式2】(両面印刷)

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、申請要件①～⑥(留学生は①～⑤及び⑦)について、満たしている項目を確認しました。

下記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和 年 月 日

学部・学科名 _____

学籍番号 _____ 携帯電話番号 _____

署 名: _____

要件チェック項目	チェック欄 該当に○印	金額 (年額)
①家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は令和元年度の仕送り年額を記載すること ※特別な事情については、 <u>申請書の「3. 申し送り事項」</u> に記入すること		万円
②原則として自宅外で生活している		
1) 自宅外で生活している		
2) 自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない ※支援を受けずに生活してる事情と状況を申請書の「3. 申し送り事項」に記入すること		
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。 ※1年生はアルバイトでの収入予定額、2年生以上は令和元年度のアルバイト収入額を記載すること ※特別な事情については、 <u>申請書の「3. 申し送り事項」</u> に記入すること		万円
④家庭(両親)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない ※特別な事情については、 <u>申請書の「3. 申し送り事項」</u> に記入すること		
⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)が大幅に減少(前月比 50%以上)している ※特別な事情については、 <u>申請書の「3. 申し送り事項」</u> に記入すること		

裏面に続く

要件チェック項目	チェック欄 該当に○印	
⑥既存制度について以下のいずれかを満たす	<div></div>	
1) 高等教育の修学支援新制度(以下「新制度」)の第Ⅰ区分の受給者		
2) 新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が可能な者にあつては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者	利用中	今後申請
3) 新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者	利用中	今後申請
4) 新制度の対象外であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者	利用中	今後申請
5) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用している者又は利用を予定している者 ※支援制度について申請書の「3. 申し送り事項」に事情と状況を記入すること	利用中	今後申請
⑦留学生等(日本語学校の生徒を含む)については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的に困窮していることに加えて、以下の要件を満たすことが必要。 1) 学業成績が優秀な者であること。具体的には、前年度の成績評価係数が、2.30 以上であること 2) 1か月の出席率が8割以上であること 3) 仕送りが平均月額 90,000 円以下であること(入学料・授業料等は含まない。) 4) 在日している扶養者の年収が 500 万円未満であること		

以下についても記載してください(参考項目として大学独自で追加したもの)。

大学独自追加項目(参考)	続柄記入欄 (ない場合はなしと記入)	金額 (年額)
生計維持者(保護者等)の収入額について ※収入証明書類から転記すること	<div></div>	
生計維持者(保護者等)のうち 1 人目の年収額		
生計維持者(保護者等)のうち 2 人目の年収額		
	続柄	万円
	続柄	万円

※収入証明書類の入手が間に合わない場合は、金額欄に「概算〇〇〇万円」または「確認中」と記し、期限内に提出すること(仮提出として受付します)。収入証明書類の写しが提出された時点で本提出として受付します。